

臨床研究に関する情報公開および研究協力へのお願い

2022年1月1日から2022年12月31日までの期間に、脳卒中や脳神経系疾患に関連する病名で入院治療された患者さんは以下をご覧ください。

【研究課題名】脳卒中後てんかんについて当院における現状評価

【研究期間】 2022年1月1日～2022年12月31日の間に当院で脳卒中や脳神経系疾患に関連する病名で入院された方を対象とします。

【研究責任者】福井赤十字病院 神経内科 早瀬 史子

【研究目的と意義】

近年、脳卒中治療は発展し、脳卒中で亡くられる患者さんは劇的に少なくなっています。しかし脳卒中にかかる患者さんは年々増加しています。そのため高齢者の要介護状態になる原因の第1位は脳卒中となっています。脳卒中の後にみられる合併症を軽くすることは介護の負担を減らすためにもとても大切です。脳卒中後の合併症の一つに、脳卒中後てんかんがあります。脳卒中後てんかんとは脳卒中の後に全身けいれん発作がごくまれに起こります。脳卒中後てんかんを予防し、適切に治療するために、①どのような人に起こりやすいか明らかにし（危険因子と言います）②正確に診断することは重要です。当院における脳卒中後てんかんの、危険因子と診断について、現在の状況を評価することを目標とした研究です。

【研究の方法】

福井赤十字病院で2022年1月1日から2022年12月31日までの期間に、脳卒中で入院治療された患者さんが対象となります。

研究方法として、電子カルテを参照し

1. 生年月（日）、年齢、性別
2. 発症年月日、入院年月日、退院年月日、転帰
3. 検査・治療内容：

入院経路、神経学的所見、バイタルサイン（血圧・脈拍）、画像診断、検査〔MRI、MRA、CT、頸動脈超音波検査、脳波〕、治療内容（投薬内容など）等を調査分析します。

なお、すでに登録されたデータのみを使用するため新たに患者さんに検査や経済的負担を強いることはございません。また研究実施計画書及び研究の方法に関する資料をご希望があれば閲覧することもできますので下記の研究担当者まで連絡をお願いします。

【個人情報の保護】

当院で収集したデータは完全に匿名化されます。この研究の全ての過程は、国が定めた倫理指針「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても個人が特定されない形で行います。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

本研究は電子カルテを基にした患者さんのデータを利用しデータは完全に匿名化された上で全体数の評価を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」によると特に文書で同意をいただく手続きが必要ないとされております。しかしご自身の情報を使用されたくない患者さんもおられるかと思いません。その場合は研究に含めませんのでお知らせ下さい。研究への協力を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記の研究担当者までお知らせください。

【問い合わせ先（研究担当者）】

氏名：早瀬 史子

（福井赤十字病院 神経内科）

〒918-8501 福井県福井市月見 2-4-1

電話：0776-36-3630

FAX：0776-36-4133